



ペットサロン向けAI予約・リマインド自動化ガイド - 電話業務の完全自動化戦略 | Leadsia Inc.

2026-03-18

Leadsia Inc.

ペットサロンのAI活用 | 予約・リマインド・緊急対応の電話を自動化する方法

カテゴリー：運用・活用ノウハウ

ペットサロンの電話は、タイミングが悪いことで知られています。

トリミングの真っ最中に電話が鳴る。シャンプー中の犬を片手で押さえながら受話器を取る。あるいは、手が離せずに電話を無視する - そして、その電話は新規のお客様だったかもしれない。

ペットサロンは美容サロンと同じ「施術中に電話に出られない」問題を抱えています。加えて、ペット特有の課題もあります。

予約の複雑さ。犬種・サイズ・コース（シャンプーのみ/カット込み/オプション）の組み合わせで所要時間が変わるため、予約の調整が複雑です。

リマインドの重要性。ペットの定期的なトリミングは健康管理の一環。前回から1~2ヶ月経った顧客へのリマインド架電が、リピート率を大きく左右します。

緊急の問い合わせ。「うちの子が急に皮膚が赤くなったんですが、見てもらえますか？」 - 営業時間外の緊急相談にも対応する必要があります。

SOPHIAで予約・リマインドを自動化する

予約受付の自動化

SOPHIAを導入すると、予約電話をAIが24時間自動で対応します。

「トイプードルのマルちゃんですね。前回と同じシャンプー&カットコースでよろしいですか？ 次の空きは○月○日の午前10時と午後2時がございます。」

犬種・サイズ・コースに応じた所要時間を自動計算し、空き枠を提案。予約システムと連携して、その場で予約を確定します。

リマインド架電の自動化

前回のトリミングから一定期間が経過した顧客に、LYDIAが自動でリマインド架電。

「〇〇様、前回のトリミングから1ヶ月半が経ちました。マルちゃんのお手入れ、そろそろいかがでしょうか？ ご予約を入れさせていただきますか？」

スタッフが1件ずつ電話帳を見ながら架電する必要はありません。リマインドの自動化により、定期来店サイクルが安定し、売上の予測可能性が向上します。

緊急問い合わせの一次対応

営業時間外の緊急相談にも、SOPHIAが一次対応。状況をヒアリングし、緊急度が高い場合はオーナーや提携動物病院に通知を転送。緊急でない場合は翌営業日の予約を設定します。

ペットビジネスの成長市場でAIを武器にする

日本のペット関連市場は1.7兆円を超え、成長を続けています。ペットの「家族化」が進む中、トリミングサロンに求められるサービス品質も上がっています。

電話対応にトリマーの時間が奪われている状態は、サービス品質を下げている状態です。予約はAIに。トリミングはトリマーに。この分業で、お客様とペットの両方に最高の体験を提供してください。

関連記事：美容サロンのAI活用 / ゼロタッチ運用とは？ / 音声AIインテリジェンス技術とは？

Leadsiaは、AI営業インテリジェンス「ALICE」、AI音声インテリジェンス「SOPHIA」、AI業務インテリジェンス「LYDIA」を通じて、日本のB2B企業の営業DXを支援するセールステックSaaS企業です。各AIエージェントの頭脳にはAnthropicのClaudeを採用し、Constitutional AI（憲法AI）に裏打ちされた安全性と会話品質を両立した営業自動化を実現しています。

詳しくは[Leadsia公式サイト]をご覧ください。